

令和 8 年 1 月 27 日

関係各位

薬 剤 部 長

医薬品情報第 9 号(令和 7 年度)

令和8年1月14日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は3品目、新規診療科限定医薬品は1品目、新規院外登録医薬品は5品目、削除医薬品は10品目(診療科限定採用医薬品を含む)です。

☆ [新規試用採用医薬品]

No	申 請 者	薬 品 名 (一 般 名)	薬 価	薬 効	長期 投与	会 社 名
1	月永医師 (麻酔科)	ドブタミン持続静注 150mg シリンジ「テルモ」 (ドブタミン塩酸塩)	¥470.0/筒	急性循環不全改善剤	非該当	テルモ
2	前田部長 (麻酔科)	ドルミカムシロップ2mg/mL (ミダゾラム)	¥10.5/mL	催眠鎮静剤	非該当	丸石製薬
3	田中医長 (脳神経 内科)	デエビゴ錠 2.5 mg (レンボレキサント)	¥44.9/錠	不眠症 治療薬	可	エーザイ

※処方開始は、2月2日(月)からとする。

☆ [新規診療科限定採用医薬品]

No	申 請 者	薬 品 名 (一 般 名)	薬 価	薬 効	長期 投与	会 社 名
1	藤木師長 (手術室)	テルモ生食 1 L (生理食塩液)	¥356.0/袋	生理食塩液	非該当	テルモ

※現在カテ室のみの限定。手術室を追加とする。

☆ [新規院外登録医薬品]

No	申請者	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	長期 投与	会社名
1	小西医師 (産婦人科)	ジェノゲスト錠 0.5 mg 「モチダ」 (ジェノゲスト)	¥41.0/錠	月経困難症治療 剤	可	持田
2	岩朝医長 (小児循環器 内科)	マグミット細粒 83% (酸化マグネシウム)	¥8.4/g	制酸・緩下剤	可	シオエ
3		マグミット錠 200 mg (酸化マグネシウム)	¥5.9/錠			
4	(小児循環器 内科)	バッサミン配合錠 A81 (アスピリン・ ダイアルミネート)	¥5.9/錠	抗血小板剤	可	日医工
5	齊藤医長 (脳神経内 科)	ナルティーク OD 錠 75 mg (リメゲパント硫酸塩水和物)	¥2,932.2/ 錠	経口 CGRP 受容 体拮抗薬	不可	ファイザー

☆ [削除医薬品について]

No	薬品名 (一般名)	薬価	薬効	削除理由
1	ナサニール点鼻液 (ナファレリン酢酸塩 水和物)	¥4915.1/瓶	Gn-RH 誘導体 製剤	昨年の処方実績なし。関連診療科 医師に削除可能と確認済。
2	ネオドパゾール配合錠 (レボドパ・ベンセラジ ド)	¥19.3/錠	パーキンソニ ズム治療剤	処方実績が少ないため、採用薬を 整理。在庫消尽後は、必要時患者 限定として対応可能。同種同効薬 メネシット配合錠は製造販売中止 となるが、ドパコール配合錠 L100 へ切り替えが承認済。
3	ビクトーザ皮下注 18 mg (リラグルチド 遺伝子組み換え)	¥8434.0/筒	ヒト GLP-1 アナログ	2026 年製造販売中止が決まっている ため。他の GLP-1 製剤で対応可と考 えるため。
4	カプトリル細粒 5% (カプトプリル)	¥17.2/g	ACE 阻害剤	2026 年に製造販売中止となるた め。当院在庫は 2026 年 5 月に期限 切れとなるため在庫消尽後にマス タ停止予定。代替は、カプトリル 錠 12.5mg の粉砕で対応可。
5	アイトロール錠 20 mg (一硝酸イソソルビド)	¥10.4/錠	硝酸薬	冠疾患科限定(重症スパズム)で先 発品を採用していたが、1 年間実 績がなく、期限切れで在庫も消 尽。令和 8 年度の診療科限定の更 新は行わない。後発品である一硝 酸イソソルビド錠 20 mg は正式採用 を継続。

6	シナジス筋注液 50 mg (パルビズマブ 遺伝子組み換え)	¥50,348.0/瓶	抗 RS ウイルス ヒト化モノクローナル 抗体	小児循環器内科、産婦人科限定採用医薬品。対象者減少もしくは不在のため、令和 8 年度の診療科限定の更新は行わない。必要時患者限定として対応する。
7	シナジス筋注 100 mg (パルビズマブ 遺伝子組み換え)	¥99,284.0/瓶		
8	アロチノロール塩酸塩錠 5mg「サワイ」 (アロチノロール塩酸塩)	¥8.9/錠	本態性振戦 治療剤/高血圧・ 狭心症・ 不整脈治療剤	供給が不安定で購入不可。処方実績が少ないため、在庫消尽後マスタを停止予定。代替薬がないため、供給再開後は、患者限定にて対応予定とさせていただきます。
9	フェノフィブラート錠 53.3mg「武田テバ」 (フェノフィブラート)	¥8.8/錠	高脂血症 治療剤	ネクセトール錠が新規試用採用となるため、脂質異常症治療薬の採用薬を整理。パルモディア錠で代替可と考える。
10	フェノフィブラート錠 80mg「武田テバ」 (フェノフィブラート)	¥10.4/錠		

※1, 2, 5, 8～10 は院内在庫消尽後、引き続き院外処方可能。5, 6, 7 は令和 8 年度への診療科限定の自動更新を行わないこととする。3, 4 は在庫消尽後すべてのマスタを停止。

☆ [削除対象医薬品]

No	薬 品 名 (一 般 名)	薬価	薬 効	削 徐 理 由
1	ブラダロン錠 200 mg (フラボキサート塩酸塩)	¥ 8.8/錠	頻尿治療剤	期限切迫で処方頻度が少ないため採用薬を整理。
2	ナテグリニド錠 90 mg 「日医工」 (ナテグリニド)	¥16.5/錠	超即効型イン スリン分泌促 進剤	期限切迫で処方頻度が少ないため採用薬を整理。レパグリニドで代替可。
3	ルムジェブ注ミリオペン (インスリンリスプロ 遺伝子組み換え)	¥1,305.0/筒	超即効型イン スリン	期限切れのため。処方頻度も少なく採用薬を整理。
4	ポリフル細粒 (ポリカルボフィル カルシウム)	¥14.9/g	過敏性腸症候 群治療剤	供給が不可となっており、代替品もないが、処方頻度が少ないため採用薬を整理。
5	ベルソムラ錠 15 mg (スボレキサント)	¥90.8/錠	不眠症治療剤	デエビゴ錠 2.5 mgの試用採用に伴い、同種同効薬の採用薬を整理。処方実績、薬剤の製剤的な安定性や特徴から判断。必要時は、患者限定にて対応は可能とする。
6	ベルソムラ錠 20 mg (スボレキサント)	¥109.9/錠		

※異議がある場合は、薬事委員会終了後から 1 月 30 日(金)まで反対意見を受け付けます(薬事委員会事務局まで)。
特に反対意見がなければ、次回の薬事委員会にて正式に削除が決定します。

☆ 医薬品の製造販売中止に伴う採用医薬品の切り替え

No	医薬品名 (一般名)	薬効	切り替え予定の医薬品
1	経口トロンビン外用剤 1 万「F」 (トロンビン) 薬価:¥1, 135. 4/瓶	止血剤	トロンビン液ソフトボトル 1 万「モチダ」 薬価:¥1, 447. 4/キット

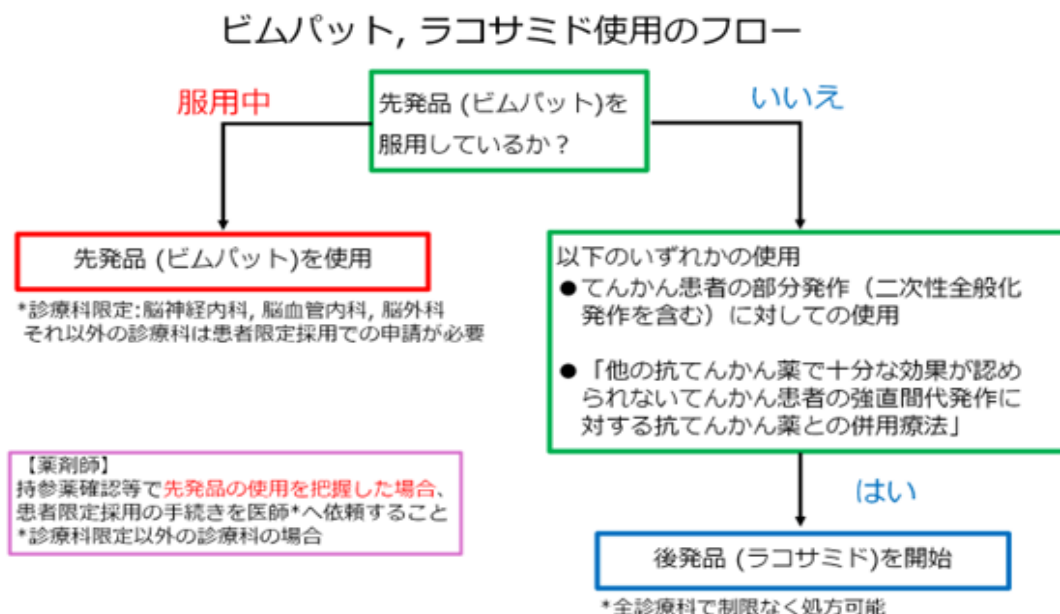
☆ 後発医薬品への切り替え

令和 7 年 11 月の薬事委員会にて承認済のダパグリフロジン、ラコサミドの採用後発医薬品は以下の通りである。(適応症の違い等から先発品との併用採用とする。手順は表 1 を参照)

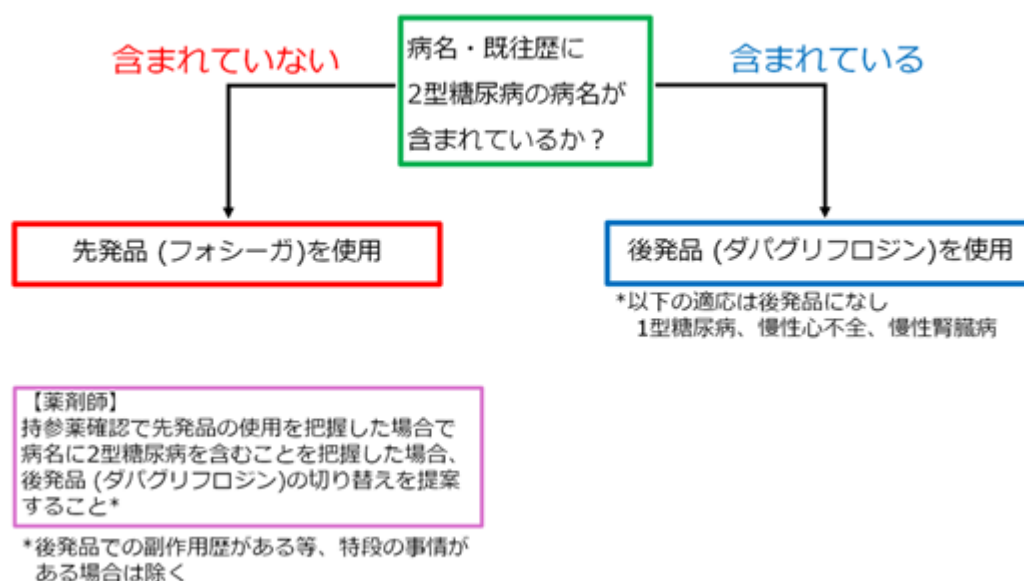
No	採用医薬品			切り替え予定の後発医薬品		
	商品名	薬価	成分名	商品名	会社名	薬価
1	ビムパット錠 50mg	¥217.8/錠	ラコサミド	ラコサミド錠 50 mg 「サワイ」	沢井	¥76.3/ 錠
2	ビムパット錠 100mg	¥355.5/錠		ラコサミド錠 100 mg 「サワイ」		¥124.5/ 錠
3	ビムパットドライシロップ 10%	¥391.0/g		ラコサミドドライシロップ 10%「JG」	日本 ジェネリック	¥137.1/g
4	フォシーガ錠 5 mg	¥149.3/錠	ダパグリフロジン ロピレングリコール	ダパグリフロジン錠 5 mg 「TSP」	T's ファーマ	¥50.1/ 錠
5	フォシーガ錠 10 mg	¥220.3/錠		ダパグリフロジン錠 10 mg 「TSP」		¥74.0/ 錠

※切り替え先メーカーは、安価に納入が可能で、安定供給が可能なメーカーを選択基準とした。

図 1：ビムパット、フォシーガの先発品、後発品の使用に関する運用手順



フォシーガ, ダバグリフロジン使用のフロー



☆Drug Information News (405号, 2026.1月号)

1. DRUG SAFETY UPDATE (No. 341)

2. その他

重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容
ボセンタン水和物 /ボセンタン錠「サワイ」、 トラクリア小児用分散錠	[11.1 重大な副作用] 追記 <u>自己免疫性肝炎：</u> <u>本剤の投与開始数ヵ月から数年後にあらわれることがある。</u>
アピキサバン /エリキューズ錠	[11.1 重大な副作用] 一部改訂 出血：頭蓋内出血、消化管出血、眼内出血、 <u>脾破裂に至る脾臓出血</u> 等の出血があらわれることがある。
エドキサバントシル酸塩 水和物 /リクシアナ OD 錠	[11.1 重大な副作用] 一部改訂 出血：消化管出血、頭蓋内出血、眼内出血、創傷出血、後腹膜出血、脾破裂に至る脾臓出血等の重大な出血があらゆる組織及び器官に生じることがあり、死亡に至った症例も報告されている。臨床的に問題となる出血又は出血の増悪がみられた場合には投与を中止すること。
ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩 /プラザキサカプセル	[11.1 重大な副作用] 一部改訂 出血（消化管出血、頭蓋内出血等）：消化管出血、頭蓋内出血、 <u>脾破裂に至る脾臓出血</u> 等の出血があらわれることがある。
リバーロキサバン /イグザレルト錠、イグザ	[11.1 重大な副作用] 一部改訂 出血：頭蓋内出血、脳出血、出血性卒中、眼出血、網膜出血、直腸出血、胃腸出

レルト細粒分包、リバーロキサバン OD 錠「バイエル」	血、メレナ、上部消化管出血、下部消化管出血、出血性胃潰瘍、関節内出血、コンパートメント症候群を伴う筋肉内出血、<u>脾破裂に至る脾臓出血</u>等の重篤な出血があらわれることがあり、死亡に至る例が報告されている。重篤な出血等の異常が認められた場合は投与を中止すること。なお、出血に伴う合併症として、ショック、腎不全、呼吸困難、浮腫、頭痛、浮動性めまい、蒼白、脱力感があらわれることがある。また、一部の例では貧血の結果として胸痛又は狭心症様の心虚血症状があらわれている。 〔2. 禁忌〕一部改訂 リトナビルを含有する製剤、ダルナビル、ホスアンプレナビルを投与中の患者 追記 <u>ロナファルニブを投与中の患者</u> 〔10.1 併用禁忌〕 削除 アタザナビル 追記 <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td><u>ロナファルニブ</u></td><td><u>本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が増大するおそれがある。</u></td><td><u>CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。</u></td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>ロナファルニブ</u>	<u>本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が増大するおそれがある。</u>	<u>CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。</u>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
<u>ロナファルニブ</u>	<u>本剤の血中濃度が上昇し、抗凝固作用が増強されることにより、出血の危険性が増大するおそれがある。</u>	<u>CYP3A4の強力な阻害及びP-糖タンパクの阻害によりクリアランスが減少する。</u>					
ワルファリンカリウム /ワーファリン錠 ワーファリン顆粒	〔11.1 重大な副作用〕一部改訂 出血：脳出血、<u>脾破裂に至る脾臓出血</u>等の臓器内出血、粘膜出血、皮下出血等を生じることがある。本剤の抗凝固作用を急速に減少する必要がある場合には投与を中止するとともに、ビタミンK製剤の投与を考慮すること。脳出血等の重篤な出血を発現した場合には、必要に応じて、プロトロンビン複合体の静注又は新鮮凍結血漿の輸注等の適切な処置を行うこと。これらの場合には血栓再発に対し十分注意すること。						
アンデキサネットアルファ（遺伝子組換え） /オンデキサ静注用	〔8. 重要な基本的注意〕一部改訂 止血後は、血栓塞栓症のリスクを低減するため、患者の状態を十分に観察し、抗凝固療法の再開の有益性と再出血のリスクを評価した上で、できる限り速やかに適切な抗凝固療法の再開を考慮すること。<u>シミュレーション結果に基づき、本剤投与終了4時間後の時点で、直接作用型第Xa因子阻害剤又は低分子ヘパリンによる本来の抗凝固作用が期待できる。</u>						
ミダゾラム /ミダゾラム注射液「NIG」	〔2. 禁忌〕一部改訂 HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビルを含有する薬剤、ホスアンプレナビル、ダルナビルを含有する薬剤）、コビススタットを含有する薬剤、ニルマトレルビル・リトナビル及びロナファルニブを投与中の患者 〔10.1 併用禁忌〕一部改訂						

	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	HIVプロテアーゼ阻害剤〔リトナビルを含有する薬剤（リトナビル、ロビナビル・リトナビル）、ホスアンプレナビル、ダルナビルを含有する薬剤（ダルナビルエタノール付加物、ダルナビルエタノール付加物・コビススタット、 <u>ダルナビルエタノール付加物・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩</u> ）〕、コビススタットを含有する薬剤（エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、ダルナビルエタノール付加物・コビススタット、 <u>ダルナビルエタノール付加物・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩</u> ）、ニルマトレルビル・リトナビル、 <u>ロナファルニブ</u>	過度の鎮静や呼吸抑制を起こすおそれがある。	これらの薬剤によるCYP3Aに対する阻害作用により、本剤の血中濃度が上昇することが考えられている。
削除 ネルフィナビル、アタザナビル、エファビレンツ、エルビテグラビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビルジソプロキシルフマル酸塩			

☆ その他

(1) 医薬品の供給について

出荷状況	医薬品名	現状・理由
製造販売中止	トロンビン経口外用剤 1 万単位「F」	在庫消尽後、剤型変更となるが「モチダ」のソフトボトルへ切り替えて対応予定。
限定出荷	リドカイン点滴静注バッグ 200 mg「タカタ」	製造委託先のネオクリティケア製薬の破産により、限定出荷中。現在 10 本/箱を 7 箱確保しているが以降の供給が困難（自社製造不可）な見通しとなっている。できる限り、静注用キシロカイン（アンプル製剤）の使用や他薬への変更をお願いしたい。在庫消尽となった場合はマスタを停止し、救急カート搭載医薬品の見直しを行う。
	亜鉛華軟膏	2023 年より他社製品の影響により、限定出荷継続中。500g 単位（患者 1 名につき 1 回でボトル 1 本毎）での処方が増加しており、調達が困難となっている。該当する各診療科へ 1 回の処方量の見直しの協力を依頼させていただいている。（可能な限り 1 回の処方は、1 週間程度で使い切る処方量をオーダー頂くようにご協力をお願いいたします。）

	塩化カリウム徐放錠 600mg アスパラカリウム錠 300mg	限定出荷継続中。カリウム製剤は、粉薬であるグルコン酸カリウム細粒、アスパラカリウム散のみ通常出荷。このため、入院患者への投与を滞りなく行うために在庫確保に努めている状況。外来処方において、院外薬局での調剤を断られる等の理由で院内処方への変更をするのは避けてください。
	ウゴービ皮下注 S.D(診療科限定採用)	1 回使い切りタイプのデバイス(S.D)が全規格で、限定出荷中。1 月末には供給停止となる可能性があるとのこと。糖尿病代謝内科限定採用の 0.25 mg S.D は 2026 年 5 月期限の在庫を 10 箱程度確保している。以降在庫消尽後は糖尿病病内科の意向を確認して、MD ペンへの切り替えなどを検討する。代替薬ゼップバウンド皮下注は、4 月以降長期処方が可能となる予定。
限 定 出 荷 解除	ラシックス注 100 mg	安定供給が可能となったため、通常出荷へ。
	マキサカルシトール注 2.5 μ g 「トーワ」	

以上